

Robundo

Typography

School

Shinjuku

shijuku

32

3 april 2018

↓
11 september 2018

第1回		4月3日(火)
6:30-7:05	片塩	* 始業挨拶 塾生自己紹介
	鈴木	* カリキュラム説明
7:15-9:40	片塩	* 講義 タイポグラフィを学ぶこととは
		・ タイポグラフィ概論とその役割
		* 講義
		・ 形而下の文と形而上の字 文字の誕生
		・ コミュニティとコミュニケーション

第2回		4月10日(火)
6:30-8:00	杉下	* 講義 スペーシング基礎
		・ レタースペースの現理とその効用
		濃度・距離・軸ほか
8:10-9:40		* 演習 「 」「mimi」「minamimon」
		スペーシング
		(持参物: カッターナイフ、カッターマット、
		30cm定規、三角定規、ピンセット)
		→持ち帰り課題1「minamimon」

第3回		4月17日(火)
6:30-8:00	木村	* 講義 ローマン体の成立
		・ トラヤヌス帝の碑文からジェンソン
		碑文の拓本、そしてスウェインハイム、
		ダ・スピラ、ジェンソンの活字を見る
8:10-9:40	鈴木	* 講義 活字組版指定基礎
		・ 活字サイズ、字間、行間、段間
		・ 組体裁(縦・横、左右、頭、中心揃え)
		・ 禁則/約物/段落字下げ/ブラ下がり組
		追い出し/追い込み/行頭括弧の扱い
		・ 和・欧混植の実際、ベースライン設定

第4回		4月24日(火)
6:30-8:00	鈴木	* 演習 組版指定の実際
		→課題「組版指定」
8:10-9:40	杉下	→課題1「minamimon」提出→
		* 講評「minamimon」スペーシング
		* 講義 スペーシング補習
		(大文字・イタリックおよび和文の
		スペーシング基礎)

第5回		5月1日(火)
6:30-8:00	河野	* 講義 欧文書体を学ぶ
		・ 欧文書体の分類と構造そして部分名称
8:10-9:40		・ 欧文書体の歴史
		グーテンベルクのブラックレターから
		近代サンセリフまでの歴史を俯瞰する
		(副読本『欧文書体百花事典』)

第6回		5月8日(火)
6:30-8:00	片塩	* 講義 日本の活字版印刷概略史
		・ 本木昌造、平野富二、福地桜痴、
		東京築地活版製造所、秀英舎など
8:10-9:40	永野	* 講義 名刺デザイン制作
		・ 名刺における表記法、定型名刺
		・ 名刺における基本構成
		* 演習 隣の名刺デザイン(公私2種)
		→課題2 希望・要望をリサーチ
		→持ち帰り課題2「設計意図、名刺ラフ
		デザイン」(次回気になる名刺を持参)

第7回		5月15日(火)
6:30-8:00	河野	* 講義 欧文組版の基礎
		・ 行、段落の組み方。行間と行長、段落の
		意味と種類。見出しの種類、可読性
8:10-9:40		・ 本文組版とページについて
		テクスチュア、判型、版面、表紙・扉

第8回		5月19日(土)
1:00-4:00	片塩	* フィールドワーク 理想社
	鈴木	* 公版印刷所の実際
		* 特別講義 田中宏明社長 書籍印刷概論
		・ 公版印刷の使命

第9回		5月22日(火)
6:30-8:00	永野	→持ち帰り課題2「設計意図、名刺ラフ
		デザイン」提出→チェック→制作へ
		* 講義 名刺の利点と問題点
		・ 持参した名刺を見る
8:10-9:40		* 講義 名刺デザインの制作実務
		・ 組版の実務
		・ トンボとガイドライン
		(使用書体の提供「要返却」)
		→持ち帰り課題3「名刺デザイン」

第10回		5月29日(火)
6:30-8:00	櫻井	* 講義 サンセリフの発展 ~時代の文化、
		社会情勢との呼応を概観する~
		・ グロテスク、ジオメトリック、
		ヒューマニスト、リアリスト
8:10-9:40		・ 誕生の地を知る事、見る事、触れる事
		・ オプティカルスケーリングと
		リニアスケーリング
		・ その後のサンセリフの成熟と進化

第11回		6月5日㊄
6:30-8:00	原	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 美術展図録制作・ケーススタディ ・エディトリアルデザイン、グラフィックデザインの基本 ・内容やターゲット層から考える組版 ・主従関係、優先順位を明らかにする ・読みやすい組版についてなど
8:10-9:40	永野	<ul style="list-style-type: none"> → 持ち帰り課題3「名刺デザイン」提出→ * 講評「名刺デザイン」

第12回		6月12日㊄
6:30-8:00	杉下	<ul style="list-style-type: none"> * 演習 本文組版課題の説明 → 課題4「本文組版」(4テーマから選択) → 持ち帰り課題4「本文組版ラフデザイン」(書体データ、テキストデータの提供)
8:10-9:40		<ul style="list-style-type: none"> * 講義 書体と紙面設計・ケーススタディ ・図版主体の紙面設計と テキスト主体の紙面設計

第13回		6月19日㊄
6:30-8:00	片塩	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 書物の組版を見る ・萩原朔太郎、恩地孝四郎、堀辰雄、立原道造、4人のタイポグラフィから学ぶこと
8:10-9:40	杉下	<ul style="list-style-type: none"> → 持ち帰り課題4「本文組版ラフデザイン」提出→チェック→制作へ → 持ち帰り課題5「本文組版デザイン」

第14回		6月26日㊄
6:30-8:00	有馬	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 複数メディアへの定着と実践 ・ここ数年で劇的に変化している紙媒体、ウェブ、モバイルについて ・紙面だけではなくスクリーンメディアをめぐるタイポグラフィの現況
8:10-9:40		<ul style="list-style-type: none"> ・いかに紙媒体とディスプレイの印象を最適化していくか

第15回		7月3日㊄
6:30-8:00	今田	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 歴史に息づく活字書体のデザイン ・和字書体のデザイン ・漢字書体のデザイン
8:10-9:40	杉下	<ul style="list-style-type: none"> → 持ち帰り課題5「本文組版」提出→ * 講評「本文組版」

第16回		7月10日㊄
6:30-8:00	春田	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 明治期の和様活字書体を見る ・書と活字のはざま 池原香禪 香禪の書から見た活字、活字から見た書 ・本木昌造との交流の中で 幕末から明治に生きた池原香禪の生涯
8:10-9:40	深津	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 UIデザインの現場から ・グランサビリティ(ぱっとみでわかること)や視認性系の話 ・AndroidのMaterial Designなど、スマホUIでのタイポグラフィの思想

第17回		7月17日㊄
6:30-8:00	木村	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 サイン・デザインの現場から ・コーポレート・アイデンティティとブランディングの構築
8:10-9:40		<ul style="list-style-type: none"> ・企画、リサーチ、プレゼンテーションの方法論とその実制作法および作成

第18回		7月24日㊄
6:30-8:00	板東	<ul style="list-style-type: none"> * 特別講座 板東孝明教授 * 講義 『デザイン学』概論— タイポグラフィの原像へ 書体の歴史や文字組版を学ぶ前提として
8:10-9:40		<ul style="list-style-type: none"> ・「デザインとはなにか?」という問いを考察する。 1.abduction(仮説形成)というまなざし 2.degeneration(退化)によって再生される美 3.incomplete(不完全な)を宿す桂離宮

第19回		7月28日㊄
1:00-6:00	西尾	<ul style="list-style-type: none"> * 特別演習 * 演習 製本術入門 (持参物:カッターナイフ、カッターマット、30cm 定規できれば金尺、2H-4H鉛筆) ・洋式製本の基礎を学ぶ。 糸かがり綴じの上製本の実務制作

第20回		7月31日㊄
6:30-8:00	水野	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 フォントメーカーからみた日本語デジタルタイプの現況
8:10-9:40	千星	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 タイポグラフィとデバイス ・モダン・ローマン体の変遷にみる各時代のデバイス ・エフェメラの観察とその実践

第21回	8月7日(火)
6:30-8:00 鈴木	* 講義 造本概略 ・紙のサイズと紙取り ・折丁について(背丁、落・乱丁) ・書物製作に必要な素材概略 ・製本の綴仕様(かがり、あじろ、無線)
8:10-9:40 真田	* 講義 現代装幀の成り立ち— 明治・大正時代の造本 ・古典に学び、実践で挑戦する ・寒風の中での顧客獲得

第22回	白井	8月21日(火)
6:30-8:00	* 特別講義 白井敬尚 * 講義 紙面の構造設計・ケーススタディ	
8:10-9:40	・フォーマットとグリッドの概略史 ・サムネール、台割、ラフスケッチから グリッドの生成および活用方法	

第23回	8月28日(火)
6:30-8:00 上野	* 講義 写真撮影における基礎知識 ・自身で撮影する～撮影を依頼する
8:10-9:40	・画像処理、及び写真データの取扱い

第24回	9月4日(火)
6:30-9:40 山本	* 特別講座 山本太郎 * 講義 アプリケーション生成の現場から ・組版ソフトと電子活字の有効利用 ・通信環境とタイポグラフィ ・ベースライン設定の基本現理 ・ポイントシステム概略

第25回	9月11日(火)
6:30-9:40 大石	* 演習 活版印刷の歴史と実践 ・文選、組版、組み付け、印刷 ・タイポグラフィの基本技術の再構築
片塩	* 講評 汝、タイポグラフィの前衛たれ!

- ・ 出欠席は授業開始前に出欠席ノートに自分の氏名を記入すること。
- ・ 欠席、遅刻は事前に必ず申告すること。
- ・ 授業中の携帯電話、メールは不可。
- ・ 教室内での喫煙、飲食は不可。
- ・ すべての課題の制作工程(途中段階も含む)は、個人用ファイルにまとめ、提出用は新宿私塾用ファイルに入れること。

- ・ 課題は成果物としてその都度講評が行なわれ採点は行なわれない。
- ・ 授業日程は変更の可能性がある。
- ・ 組版アプリケーションとしてイラストレータを使用して制作が行なわれるため、コンピュータ・スキルを習得しておく事が求められる。
- ・ 基本的に図書資料の持ち出しは不可。
- ・ 資料類のコピーは、必ず申告すること。

- ・ 演習以外のコピーは申告制。1枚10円。
- ・ 塾生以外で講義をスポットで聴講したい方は申し込み制で、1時限12,000円、1回2時限20,000円で、聴講できるが、塾生の席次を優先とする。
- ・ 出席できなかった講義は次期講義に出席可(ただし演習項目は不可)。従って本期に前期塾生が出席する可能性がある。
- ・ 入塾予定見学者が出席する可能性がある。

新宿私塾担当講師：

有馬智之(グラフィック・デザイナー)
今田欣一(欣喜堂 活字書体設計家)
上野隆文(フォトグラフィ)
大石 薫(朗文堂 サラマ・プレス倶楽部)
片塩二郎(朗文堂 塾長)
木村雅彦(グラフィック・デザイナー)

河野三男(東洋美術学校講師)
櫻井優樹(グラフィック・デザイナー)
真田幸治(グラフィック・デザイナー)
杉下城司(グラフィック・デザイナー)
鈴木 孝(朗文堂 タイポグラフィ)
千星健夫(グラフィック・デザイナー)

永野有紀(グラフィック・デザイナー)
原 純子(グラフィック・デザイナー)
春田ゆかり(グラフィック・デザイナー)
深津貴之(UIデザイナー)
水野 昭(株式会社イワタ 社長)

新宿私塾特別講師：

白井敬尚(グラフィック・デザイナー)
田中宏明(株式会社理想社 社長)
西尾 彩(ブック・バインダー)
板東孝明(武蔵野美術大学教授)
山本太郎(アドビシステムズ・ジャパン)

タイポグラフィ・スクール 新宿私塾

160-0022 東京都新宿区新宿 2-4-9 朗文堂 Telephone:03-3352-5070 Facsimile:03-3352-5160 E-mail:robundo@ops.dti.ne.jp http://www.ops.dti.ne.jp/~robundo/